

北陸電波学校
北陸電波専門学校
北陸電波高等学校
金沢工業大学附属高等学校
金沢工業高等専門学校
金沢工業大学

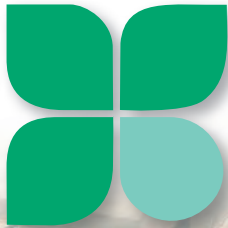
金沢工大学園 同窓会報



第11回こぶし会総会
新会長に松田真一氏

金沢工業大学第六代学長
大澤敏氏が就任

こぶし会が国際交流事業を支援
帰国報告会で成果を発表



第11回 こぶし会総会を開催

日時 ■ 平成 28 年 6 月 11 日 (土)

場所 ■ 金沢工業大学多目的ホール



すべての会員が活躍する会に 新体制でさらなる躍進を

松田真一氏を新会長に選出

第11回こぶし会総会は金沢工業大学多目的ホールで開催されました。総会では、新会長に松田真一氏を選出し、すべての会員が活躍する同窓会としてさらなる躍進を誓いました。

全国各地から会員が出席して開かれた総会では、初めに野村外茂雄会長が「昭和57年に設立したこぶし会は、今年で34年目を迎え、こぶし会会員数は6万9,200名を超える同窓会組織となりました。これもひとえに学園のご理解とご協力、会員の皆さまの日ごろからのご尽力、ご支援のおかげです」と挨拶し、来賓を代表して泉屋利郎理事長が祝辞を述べました。

源野統夫氏（大学・建築・H2年）を議長に選任した後、平成27年度の事業報告と決算報告および28年度の事業計画と予算が報告され、承

認を受けました。最後に役員改選を行い、退任する野村会長の後任として、松田真一氏（大学・情報・50年）を新会長に選出しました。

これからの3年間で託された松田新会長は「こぶし会は、保二会、高専同窓会、大学同窓会の3つの同窓会で組織されており、それぞれの同窓会が互いに協調しながら、学園とともに新しい時代に備えていく必要があります。老若男女すべての会員が活躍でき、楽しめるこぶし会になればと思っておりますので、皆さまのご支援とご協力をお願いいたします」と決意を語りました。



〔各委員会から提示された事業計画〕

支部委員会

- 中国・四国支部長会議＝5月28・29日、高知県
- 第11回こぶし会総会、保二会・高専同窓会・大学同窓会総会併催
＝6月11日、金沢工大多目的ホール
- 平成28年度全国支部代表者会議＝6月11日、
金沢工大酒井メモリアルホール
- 支部総会（拯友会日程）＝6月4日～7月24日
- 関東こぶし会総会＝7月8日、東京都
- 東北・北海道支部長会議＝7月23・24日、北海道
- 東海支部長会議＝9月17・18日、岐阜県
- 近畿支部長会議＝滋賀県
- 第22回全国一斉ボウリング大会＝11月12日

企画運営委員会

- サマーセッション in 穴水2016＝7月29～31日、穴水湾自然学苑
- 第20回こぶし会ゴルフ大会＝9月10日
- 第16回こぶし祭＝10月15・16日（高専祭）
＝10月29・30日（工大祭）

会報委員会

- 「会報こぶし」58号発行（平成28年7月）
- 「会報こぶし」59号発行（平成29年1月）

〔こぶし会役員一覧〕 ※は新任役員

■ 名誉会長

黒田 壽二（保二会・35年、大学・電気・44年）

■ 名誉副会長

神 亮一（保二会・37年）

■ 相談役

大澤 敏※（大学学長）
ルイス・バークスデール（高専校長）

■ 会長

松田 真一※（大学・情報・50年）

■ 副会長

竹嵩 茂孝（保二会・40年）
早川 義造（高専・電気・43年）
殿村 和也（大学・土木・57年）

■ 理事

- 中野 忠史（保二会・38年）
- 水野 四郎（保二会・39年）
- 野中 正樹（高専・機械・49年）
- 西谷 隆司（高専・電気・53年）
- 小寺 賢一（大学・機械・53年）
- 藤井 弘史（大学・電子・56年）
- 高木 由次（大学・経営・50年）
- 中島 俊幸※（大学・土木・50年）
- 源野 統夫※（大学・建築・H2年）
- 加原 智彦（大学・情報・H7年）
- 中屋 真悟（大学・環境システム・H11年）
- 伊勢 陽一（大学・土木・51年）
- 三上 耕一（大学・建築・50年）
- 黒柳 正巳（大学・電気・56年）
- 阪口 龍平※（大学・建築・53年）
- 烏谷 伸（大学・土木・51年）
- 橋口 芳仁（大学・土木・47年）
- 松田 孝一（大学・機械・44年）
- 百万 光生（大学・経営・51年）
- 野村 外茂雄※（高専・電気・44年）
- 橘 守（大学・建築・53年）
- 辻 純※（大学・建築・H6年）
- 寺田 正人（大学・土木・54年）

■ 監事

- 野村 太慶司（保二会・37年）
- 釜戸 吉一（高専・電気・49年）
- 太田 詩朗※（大学・機械システム・H7年）

■ 参与

川向 義朗（大学・経営・48年）

こぶし会新会長 就任インタビュー

第11回こぶし会総会が平成28年6月11日、金沢工業大学・扇が丘キャンパスで開かれ、松田真一氏が新会長に就任しました。野村外茂雄会長からバトンを引き継いだ松田氏に、新会長としての抱負や、こぶし会として今後力を入れたい点などをうかがいました。

こぶし会新会長

松田 真一氏



会員一人一人の
“気配り”で
楽しんで
参加できる
組織に

——会長に就任された感想をお聞かせください。

平成16年から2期6年間、こぶし会会長を務めさせていただきました。今回、再び会長に推挙されたことに対し、責任の重さを痛感している次第です。12年前とは時代も変化し、同窓会に求められることも変化しています。このような変化の波に対応し、会員の声に真摯に耳を傾けながら、次代の同窓会のあり方を模索していかなければならないと決意を新たにしています。こぶし会は、保二会、高専同窓会、大学同窓会の三つの同窓会によって成り立っています。この三同窓会が、これまでよりも「絆」を深めていくことが、こぶし会の発展に欠かせないことだと考えています。

——こぶし会の活性化に向けてどのように取り組んでいきたいですか

こぶし会は今、会員が一丸となって大きく変わらなければならない節目に来ています。これまでこぶし会を支えてくださった方々には、今後もお力添えをいただくとともに、一緒に活動していただける会員を一人でも増やすことが肝要です。そのためには、同窓会活動が楽しくなければならぬと思っています。世代を超えて、性別を超えて、同じ学び舎で学んだ者同士が、学校を誇りに思い、仲間になる。その楽しさに気づいてもらいたいです。初めての方が参加するには勇気が必要かもしれません。ですから、そのような方々を温かく見守る“気配り”がとても大切です。



「金沢工大学園の発展につながる活動をしたい」と意欲を見せる松田新会長

——“気配り”とは具体的にどういったことなのでしょう。

例えば、新しい会員が同窓会活動に初めて参加した時、「誰と何を話したらいいのか分からない」などの不安があるでしょう。周囲の人たちとすぐに打ち解けられないかもしれません。このような心の垣根を取り払うには、以前から活動されている会員や年長者が、若者や新しい会員を優しく受け入れていくことが大事です。ちょっとした思いやり、気遣いをするだけで、新しい会員は私たちの輪の中に入ることができます。気配りとは“察する力”です。人の気持ちを少しずつ察する優しさが皆さんの中に広がっていけば、やがて大きな輪が生まれていくのだと確信しています。

——全国の会員の力を結集していくにはどうしたらよいでしょうか。

こぶし会は69,262名が所属する大きな同窓会組織であり、7割以上の会員は石川県外で活躍されています。支部のネットワークを最大限に生かしていくことが、こぶし会の前進につながると考えています。参加している会員の人数が少ない支部もあれば、多い支部もありますが、一人一人の声を拾って支部の力を蓄えていかなければならないでしょう。「継続は力なり」という言葉があります。これまでの活動を受け継ぎ、未来に向かってつなげていくことが大切なのです。私一人の力では何もできません。役員をはじめ、多くのスタッフの方々の協力がなければ、何も成し得ないのです。

ぜひ、皆さんの熱意を結集して、こぶし会をさらに素晴らしい組織にしていきたいです。

保二会・高専同窓会・大学同窓会の 総会がそれぞれ行われました。

平成28年度 保二会総会



さらなる充実に向けて知恵を

平成28年度保二会総会は平成28年6月11日、酒井メモリアルホールで開催されました。

竹嵩茂孝会長（40年）が「発足時は2,228人だった保二会会員も年々減少しており、最年少の会員も還暦（60歳）を超えております。これからも『文化講座』の開催などを企画し“老後を楽しむ同窓会”でありたいと思っていま

す。さらなる充実に向け、皆さまからのお知恵をいただければ幸いです」と挨拶しました。

引き続き、織田正裕氏（38年）を議長に選んで議案審議に移り、水野四郎氏（39年）が平成27年度の事業報告と決算、28年度の事業計画と予算について報告し、すべての議案が出席者の拍手を持って承認されました。

第14回 金沢高専同窓会総会

気軽に参加できる組織づくりを

第14回金沢工業高等専門学校同窓会総会は平成28年6月11日、金沢工業大学多目的ホールで開かれ、同窓会の結束を確かめました。

初めに早川義造会長（電気・43年）が「卒業生は5,975名となり、今後とも会員相互の親睦を図り、金沢高専の発展に協力していきたい」と挨拶。続いて金沢高専のルイス・パークスデール

校長が平成30年から実施するグローバルイノベーターを育成する新たな教育改革について説明しました。

嶋田喜一郎氏（電気・45年）を議長に選んで議事に移り、西谷隆司氏（電気・53年）が平成27年度の事業報告と決算、28年度の事業計画と予算、役員改選について報告し、全会一致で承認しました。



第21回 大学同窓会総会

会員相互の親睦と絆を大切に

第21回金沢工業大学同窓会総会は平成28年6月11日、金沢工業大学多目的ホールで開かれ、今後の活動方針について確認しました。

まず殿村和也会長（土木・57年）が「大学同窓会の会員数は6万1,000名を超える組織に成長しました。これからも会員相互の親睦と絆を大切に、母校の発展のために活動を続けたい」と挨拶し、金沢工業大学の

大澤敏学長が「後輩が社会に出る際に温かく育てていただきたい」と願いました。

この後、中屋真悟氏（環境システム・H11年）を議長に選び、平成27年度の事業報告ならびに決算、28年度の事業計画および予算、役員改選の全議案が出席者の拍手によって承認されました。



扇が丘キャンパス見学会



様変わりしたキャンパスに目を見張る卒業生たち

最新の学内施設に感心

扇が丘キャンパス見学会は、こぶし会総会後に行われ、15名ずつのグループに分かれて学内を見て回りました。

学生たちの案内役で、卒業生たちはまず23号館へ。学生同士がアイデアや知識を結びつけ、今までにない価値を生み出すチームラーニングの拠点に興味津々のようでした。続いて、28号館へ移動して、こぶし会活動の中心拠点であるこぶし会事務局や、えふえむ・エヌ・ワンを見学しました。

最後に、社会に貢献でき、社会を変革できるアイデア（イノベーション）などの創出に学生主体で取り組む12号館（アントレプレナーズラボ）を訪れるなど、卒業生たちは大きく進化しているキャンパスの様子に感心しきりでした。



平成28年度全国支部代表者会議 支部を活性化して 全員参加の同窓会に

全国支部代表者会議が平成28年6月11日、全国から支部代表者および支部委員ら106名の会員が出席し、金沢工業大学内の酒井メモリアルホールで開催されました。

会議では初めに、野村外茂雄こぶし会会長が「こぶし会は7万人近い同窓会組織に成長しており、支部活動の重要性は増えています。支部を活性化することで全員参加の会を目指しましょう」と挨拶しました。松田真一支部委員長を議長に選んだ後、熊本支部の森岡章郎氏（大学・電気・H12年）が熊本県を中心とした地震の現状について話し、「震度7の地震を観測して以降、1700回を超える地震があり、まだ余震が続いています。復興には時間がかかると思いますので、引き続きご支援をお願いします」と呼び掛けました。

続いて、各支部の活動報告に移り、徳島支部の岡田晋氏（大学・機械・52年）がフェイスブックなどを使った情報発信によって、新会員が少しずつ増えている事例を紹介しました。また、札幌支部の菅原吉孝氏（大学・建築・55年）が支部総会の案内ハガキに手書きのメッセージを入れる取り組みを続けており、「ハガキの返信率が5割を超え、新しい参加者も増えています。ハガキが会員との接点なので大事にしたい」と話しました。

このほか、九州・沖縄の会員に向けたLINEアプリによって各県の情報を共有していることや、中国・四国合同でバーベキュー大会を実施して交流を深めていることなどが報告されました。最後に早川義造こぶし会副会長（高専同窓会会長）が閉会の言葉を述べ、会議は閉会しました。



1 こぶし会の発展に向けて白熱した議論を交わしました 2 熊本を中心とした地震について森岡氏が報告しました 3 支部運営のヒントを話した菅原氏 4 新規会員の参加を促すにはどうしたらよいかを訴えた岡山支部の出原道雄氏（大学・機械・56年） 5 平成29年度の全国支部代表者会議は金沢で行われます

懇親会 躍進へ心を一つに

懇親会は、金沢工業大学21号館レストラン「ラテラ」で開かれ、出席者たちは、学生時代の思い出や自身の近況を話し合うなど親睦を深めました。

松田真一会長、水野四郎実行委員長、泉屋吉郎常務理事が挨拶し、黒田壽二名誉会長の発声で乾杯しました。ステージイベント

として、加賀木遣くずしとフォークソングが披露されたほか、恒例となった抽選会では、加賀友禅などの賞品が用意されました。

この後、各同窓会が壇上に立ち、学生時代を思い出しながら校歌を熱唱。黒柳正巳さん（大学・電気・56年）の音頭で万歳三唱し、金沢工大学園の躍進を全員で誓いました。

加賀木遣くずしを披露した保二会の育藤仁さん（38年）、水野四郎さん（39年）、竹嵩茂孝さん（40年）



吉田拓郎の「落陽」などを熱唱した秋田支部の浅野喜秀さん（大学・土木・51年）



各同窓会が校歌を熱唱すると、盛り上がりは最高潮に

新支部長紹介

新しく支部長に就任された2名の方々をご紹介します。各支部のまとめ役として今後の活躍が期待されます。



秋田支部長
浅野 喜秀氏
（大学・土木・51年）



東京支部長
飯田 宏幸氏
（高専・電気・61年）

平成28年度 中国・四国支部長会議

若い世代の会員を増やすため 新たな取り組みに挑戦を

平成28年度の中国・四国支部長会議が平成28年5月29日、高知県高知市の三翠園で開かれ、鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知の支部長ら26名が出席し、各支部の活動状況など報告しました。

初めに、竹罵茂孝こぶし会副会長が「こぶし会の活動は、支部の方々のたゆまぬ努力によって支えられています。これからも変わることなくご支援いただきますよう、お願いいたします」と挨拶し、開催支部の有澤芳郎高知支部長が歓迎しました。

活動報告では、各支部とも新たな参加者を増やすために知恵を絞っている状況がうかがえ、実際に新会員を獲得している支部も出てきています。また、支部を越えた交流が大切と考え、中国・四国の9支部が合同でバーベキュー大会を実施するなど、広域での連携も進んでいることが紹介されました。

若い世代の会員をいかに増やしていくかについては、岡山と徳島の両支部が、フェイスブックを利用するとともに、支部総会の案内はがきでQRコードを活用するなど、新たな取り組みに挑戦していることが報告されました。



熊本地震で被災された 会員とご家族の皆さまに 謹んでお見舞い申し上げます。

平成28年4月14日以降の一連の地震により、熊本地方を中心に甚大な被害を及ぼし、多くの尊い命が失われました。改めまして、犠牲になられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災されたすべての方に心からのお見舞いを申し上げます。



こぶし会会長
松田 真一氏

こぶし会では、即座に九州地方の支部長などと連絡を取り、被災地におけるこぶし会会員の全員の無事を確認しております。ただ、被災地では余震が続き、多くの方が不自由な生活を強いられ、刻々と変わる状況に不安な日々を過ごされていることに、胸を締めつけられる思いです。今後、こぶし会としては、金沢工大学園とともに可能な限りの協力活動を行っていく所存です。今回、被害を受けられた会員の皆さま、ご家族の皆さまの安全と、一日も早い復旧をひとえにお祈り申し上げます。

平成28年度こぶし会支部総会のお知らせ

■ 東北エリア

青森 >> 8/20(土)
岩手 >> 7/9(土)
秋田 >> 8/19(金)
福島 >> 7/9(土)

■ 関東エリア

茨城 >> 7/16(土)
栃木 >> 7/9(土)
関東こぶし会 >> 7/8(金)
(埼玉支部・千葉支部・
東京支部・神奈川支部)

■ 北陸エリア

福井 >> 7/9(土)

■ 東海エリア

岐阜 >> 7/9(土)
(岐阜)
岐阜 >> 7/16(土)
(高山)
愛知 >> 8/6(土)
(豊橋)

■ 近畿エリア

三重 >> 7/9(土)
京都 >> 7/17(日)
(京都)
京都 >> 7/30(土)
(舞鶴)

■ 中国エリア

鳥取 >> 7/9(土)
島根 >> 7/9(土)

■ 四国エリア

愛媛 >> 7/23(土)

■ 九州エリア

福岡 >> 8/20(土)
佐賀 >> 7/23(土)
長崎 >> 7/23(土)
鹿児島 >> 7/9(土)

※札幌、道東、群馬、新潟、山梨、長野、静岡、愛知(名古屋)、奈良、和歌山、岡山、広島、山口、徳島、香川、高知、大分、宮崎の18会場については、6月末までに終了いたしました。

※宮城、山形、富山、高岡、大阪、兵庫、沖縄の各支部は、日程が決まり次第、お知らせします。会員の皆さまには個別に詳細をご連絡いたします。

こぶし会

会員総数が69,262名に 高専・大学で同窓会入会式

平成 27 年度の入会式が、大学同窓会は 3 月 12 日に、高専同窓会は 3 月 15 日に、それぞれ行われ、こぶし会にフレッシュな仲間が加わりました。

卒業式の後に行われた各同窓会の入会式には、こぶし会の役員らが出席し、野村外茂雄こぶし会会長、殿村和也大学同窓会会長、早川義造高専同窓会会長から新会員に歓迎と激励の言葉が贈られました。

各会長からの祝辞を受け、幹事代表

として高専では北村仁志さん（機械工学科）、大学では羽田拓馬さん（電気電子工学科）が「私たちは各人が持っている力を遺憾なく発揮し、会の発展に寄与いたします」と力強く入会の詞を読み上げました。

平成 27 年度の新会員は、高専同窓会が 108 名、大学同窓会が東京の大学院修了生を含めて 1,462 名で、こぶし会の総会員数は 69,262 名となりました。



▲ 新たに加わった若い力の活躍に期待です

保二会

富山の名刹に感嘆

平成 28 年度文化講座



▲ 文化講座に参加した皆さん

文化講座「越中の名刹『瑞泉寺』『瑞龍寺』参拝の旅」が平成 28 年 5 月 22 日にこぶし会会員ら 17 名が参加して行われ、富山県南砺市の瑞泉寺と高岡市の瑞龍寺を巡り、匠の技が結集した寺院建築の美しさに目を凝らしました。

一行はまず、彫刻のまち・井波が誇る真宗大谷派の瑞泉寺を訪問。建物の

随所に職人技が光る彫刻が施されており、中でも、勅使門にある「獅子の子落し」は井波彫刻の元祖とされ、精緻な出来に感心しきりでした。

続いて訪れたのは、曹洞宗の寺院・瑞龍寺です。山門、仏殿、法堂が富山県で唯一、国宝に指定されており、加賀藩 2 代藩主・前田利長の菩提寺として 20 年の歳月をかけて建立されました。参加者は左右線対称の伽藍寺院の素晴らしさに触れながら、心静かに自分の生き方を振り返っていました。

機扇会

機械工学科・機械システム工学科・物質応用工学科・先端材料工学科・物質システム工学科・ロボティクス学科・航空システム工学科

優秀な学部生 38 名を表彰

機扇会賞

プロジェクトデザインⅢで優秀な成果をあげた学部生 38 名に対する表彰（機扇会賞）を平成 28 年 3 月 12 日に行いました。機械系 3 学科の学部 4 年生 352 名の卒業を祝うとともに、ますます活躍を期待しました。

機扇会は、こぶし祭や全国一斉ボウリング大会への参加などを通じて卒業

生の交流を図っているほか、学会発表を行う学部生・院生に対する旅費の援助を実施するなど、在学生教育・研究活動を修学支援しています。

中田政之氏を会長に

平成 28 年度機扇会総会は平成 28 年 6 月 11 日、金沢工業大学 7 号館で開かれ、会員 32 名が出席し、中田政之会長（61 年）を再任しました。

第 2 回機扇会交流会

今年の工大祭に合わせて、下記の日程で交流会を開催しますので、皆さんのご参加をお待ちしております。

- 日時 平成 28 年 10 月 29 日（土）16 時～
- 場所 7 号館 204 室
- 会費 卒業生 1000 円、学生 500 円
- 申し込み 幹事長：梅野清一郎

E-mail: s_umeno@neptune.kanazawa-it.ac.jp

※参加を希望する方は、10 月 17 日までに件名を「第 2 回機扇会交流会参加」として①氏名②卒業年度③住所④連絡先電話番号⑤近況を上記のメールアドレスまでお送りください。参加されない方も近況をお送りいただければ幸いです。

こぶし会

保二会 (ほじかい)

北陸電波学校 北陸電波専門学校
北陸電波高等学校 金沢工業大学附属高等学校

大学同窓会

高専同窓会

学科同窓会

機扇会 (きせんかい)

機械工学科 機械システム工学科
物質応用工学科 先端材料工学科
物質システム工学科 ロボティクス学科
航空システム工学科

琥睦会 (こぼくかい)

電気工学科
電子工学科
電気電子工学科
情報通信工学科
電子情報通信工学科

経工会 (けいこうかい)

経営工学科
経営情報工学科
情報マネジメント学科
情報経営学科
経営情報学科

ながつき会

土木工学科
環境土木工学科

積木会 (つみきかい)

建築学科
居住環境学科
建築都市デザイン学科
建築デザイン学科

扇翔会 (せんしょうかい)

情報処理工学科
情報工学科
メディア情報学科

平結会 (へいゆうかい)

人間情報工学科 環境システム工学科
環境化学科 生命情報学科
応用バイオ学科 応用化学科

バイオ化学科
心理情報学科

経工会

経営工学科・経営情報工学科・情報マネジメント学科・情報経営学科・経営情報学科

年金が不安なら401k導入検討を

第29回異業種交流会

第29回異業種交流会は平成28年1月24日、金沢市のANAホリデイ・イン金沢スカイで会員ら19名が出席して開かれ、経営情報学科の松林賢司教授が「401k導入のススメと経営情報学科の新しい取り組み」をテーマに講演しました。

松林教授は、近畿大学のマグロや石

川県内の企業が扱う商品を例に挙げながら「大学とうまく連携することで商品のブランド化を図ることができる」と強調しました。続いて、確定拠出年金401k導入については、将来の年金受給に不安がある人にとっては検討の余地があると提案。最後に、より実践的な「ビジネスデザイン」という科目を経営情報学科に採用していると話し、学生指導への熱意を感じさせました。

第30回夏の異業種交流会

- 日時 平成28年8月21日(日)
受付10:00、開始10:30
- 場所 ANAホリデイ・イン金沢スカイ
- 会費 2,000円
(昼食込み、講演聴講のみは無料)
- 講師 松下電建株式会社社長
松下泰文氏
(経営工学科 昭和52年卒)
- 演題 「必要とされ、あてにされる企業をめざして64年」
- 申し込み：前日までに経工会ホームページ参加フォームから申し込みか、こぶし会事務局(076-294-6375)までご連絡ください。

積木会

建築学科・居住環境学科・建築都市デザイン学科・建築デザイン学科

表情豊かな現代建築を見学

富山で建築研修会



▲吹き抜けを見上げる参加者

第2回積木会建築研修会「富山の現代建築を巡る！」が平成27年11月28日に開かれ、積木会会員11名が参加し、デザインに趣向を凝らした建築物の数々を見学しました。

今回は、富山県で初めて開催し、富山在住の会員の方々も参加しました。最初に、建築家の隈研吾氏が設計したTOYAMAキラリ(富山市西町南地

区第一種市街地再開発事業)を訪れ、5層の構造で斜めの吹抜けを配した富山市ガラス美術館と富山市立図書館を巡りました。

続いて市内に点在するグランドプラザや富山市民プラザ、富山国際会議場、サンシップとやま、高志の国文学館といった現代建築を巡りました。

今回の研修会では、富山市内に表情豊かな建築物が多いことを体験するとともに、富山在住の会員との交流が収穫となりました。

こぼくかい
 **琥睦会**

電気工学科・電子工学科・
 電気電子工学科・情報通信工学科・
 電子情報通信工学科

浅香憲一氏を会長に 平成28年度琥睦会総会

平成28年度琥睦会総会は平成28年6月11日、金沢工業大学7号館で開かれ、会員35名が出席し、浅香憲一会長（44年）を再任しました。

総会では、初めに浅香会長が「会員同士のつながりを大切にしたい」と挨拶しました。萩田幸男氏（44年）を議長に選んだ後、平成27年度事業報告、会計報告、28年度事業計画、予算を承認しました。役員改選では、村田彰氏（45年）、稲葉章氏（47年）、柳橋秀幸氏（H14年）の3人を新理事に選びました。



▲懐かしい顔がそろった総会

ながつきかい
 **ながつき会**

土木工学科・
 環境土木工学科

風尚樹氏を会長に再選 第8回ながつき会総会

第8回ながつき会総会は平成28年6月11日、金沢工業大学7号館で開かれ、会員41名が出席し、風尚樹会長（H元年）を再任しました。

総会では、初めに風会長が「会員の皆さんが絆を深め合う会にしていきたいので、ご協力をお願いします」と挨拶しました。下川孝氏（H元年）を議長に選んだ後、平成27年度事業報告、会計報告、会計監査報告および28年度事業計画、予算を承認しました。役員改選では、新たに川畑広明（58年）ら4名を新理事に選びました。



▲総会に出席した皆さん

せんしょうかい
 **扇翔会**

情報処理工学科・情報工学科・
 メディア情報学科

10月29日(土)に開催 学園祭ミーティング

こぶし祭（工大祭併催）の開催に合わせて、下記のように「学園祭ミーティング（卒業生懇親会）」を開催いたします。学科の現状報告および在学生との交流を企画しております。情報処理工学科、情報工学科、メディア情報学科の卒業生の皆さまの参加を心よりお待ちしております。

- 日時 平成28年10月29日(土)
- 場所 金沢工業大学内
- 会費 無料
- 申し込み 小松義明(H22年卒)
- E-Mail: sensyokai@mlist.kanazawa-it.ac.jp
- 締切日 平成28年10月21日(金)



▲ 昨年の総会・懇親会の様子

へいゆうかい
 **平結会**

人間情報工学科・環境システム工学科・
 バイオ化学科・環境化学科・生命情報学科・
 心理情報学科・応用バイオ学科・応用化学科

「日ごろから交流を」 記念パーティーを開催

平結会の卒業記念パーティー&入会式は平成28年2月13日、金沢工業大学21号館レストラン「ラテラ」で開かれ、心理情報学科、応用バイオ学科、応用化学科を卒業予定の学生や教員ら約60名が参加し、日ごろから交流を深めていくことを誓いました。

プロジェクトデザインⅢ（卒業研究）公開発表審査会を終えたばかりの学生たちには笑顔が浮かび、中屋真悟会長（H11年）が「会員の皆さんが参加できる企画を考えておりますので、活動への参加をお願いいたします」と挨拶しました。ビンゴ大会が行われた後、長尾隆司教授が閉会の挨拶を行い、閉会しました。



▲ 新たな会員の活躍が期待されます

こぶし会が国際交流事業を支援

インドネシアで学生が成長

帰国報告会で成果を発表

こぶし会では、金沢工業高等専門学校と金沢工業大学が実施している国際交流を行うプログラムに対して支援を行っています。初年度となる平成 27 年度は、国際プロジェクトや英語研修などの国際交流事業が選ばれ、世界で活躍できる技術者の育成を目的としたこの支援によって、学生は着実に成長の階段を登っています。



ラーニングエクスプレス報告会の様子



農業班のメンバーたち



フィルター付ボイラーの利便性を説明



鶏を茹でるためのざるを検討



苗を畑に移す作業を実際に体験する

4事業をサポート

平成 27 年度に支援したのは、「泰日工業大学サマープログラム(タイ)」、「グローバルマインド向上プログラム(アメリカ)」、「ニュージーランド英語研修(ニュージーランド)」、「ラーニングエクスプレス(インドネシア)」の事業です。学生がそれぞれの事業ごとに帰国報告会で成果を発表しました。

中でもラーニングエクスプレスは、グローバル人材を育成する短期留学プログラムであり、新興国でのフィールドワークを通して、地域発展や環境問題、持続可能な社会などの観点から問題を発見し、解決策を提案する国際的なプロジェクトです。今年は、平成 28 年 3 月 12 日から 27 日までインドネシアで実施されました。

ラーニングエクスプレスの帰国報告会は 5 月 11 日、金沢工業大学 23 号館で行われ、参加した金沢工業高等専門学校、金沢工業大学の学生 18 人が、言葉の壁を乗り越えながら豆腐製造、養鶏・鶏肉製造、農業の 3 つのテーマに取り組んだ活動について発表しました。

豆腐製造では、製造工程で発生する煙が工場内にまん延し、空気や水を汚す原因になっている問題の解決

策として、フィルター付ボイラーの導入を提案しました。また、養鶏・鶏肉製造は、鶏肉を茹でる際に素手で作業を行っている点を改善する対策として、取っ手のついたざるを考案。さらに農業では、種植えの道具や雨から作物を守るグリーンハウスを考え、農作業の効率化や技術・知識の教育につながる案を披露しました。

積極的にコミュニケーション

参加した学生たちは、本格的に外国の学生とディスカッションできるほど英語力は高くはありませんでしたが、言語以外の絵や図を併用することでアイデアを伝え、積極的に外国の学生とコミュニケーションを取ることによって、多くの学生が外国の友人を得ました。学生からは「コミュニケーションとは、ただ話し合うことではなく、さまざまな手段を通して自分の意志を伝え合うことです」という感想が聞かれました。

このプロジェクトを通じて学生たちは、英語力の向上を誓うとともに、この経験を卒業研究などで生かしたいとの思いを強くしており、16 日間のプロジェクトへの参加によって、学生が一回りも二回りも成長したようです。

共創教育の実現を目指す。

金沢工業大学 おおさわさとし 大澤敏氏 第六代学長に就任

平成 28 年 4 月 1 日、金沢工業大学の第六代学長に大澤敏氏が就任しました。理工系総合大学として確固たる地位を築いた金沢工業大学の舵取りを任された大澤氏に、今後の大学のあり方などについてうかがいました。

「学生を知る」 ことから始める

金沢工業大学を全学一致で発展させる立場にある学長の責任の重さは想像以上です。今、その使命を最後まで全うしなければならないと意を強くしています。学長室にいただけでは学生の考えは分かりません。そこで、教壇には立ち続けるつもりです。学生と触れ合い、その考えを吸収して大学の運営に反映させていきたいと考えています。

学長に就任した際、教職員の方々には「学生を知ることから始めよう」と申し上げました。時代や社会が変化している中で、学生の考え方も大きく変化しています。全教職員が学生のことを知らなければ、学生への適切なサポートもできませんし、能力を引き出して成長を促すこともできません。目の前にいる学生を知ることが、前進への第一歩なのです。

本学は、京藤睦重第二代学長が「教育付加価値日本一の大学」を目指し、「自ら考え行動する技術者」の育成を掲げた石川憲一第五代学長が 22 年にわたって教育改革を推進したことで、4 学部 14 学科を擁する理工系総合大学として全国的にも知名度が高まりました。このように、しっかりとしたベースができていことから、今後は本学の特徴を深めていき、学生一人一人の夢やビジョンを実現させていくキャンパスにしていかなければならないと思います。

「世代」「分野」「文化」を超えて

これまでの大学は、18 歳から 22 歳ま

での限られた世代の中で教育を考えてきました。これからの時代は、学内だけでなく社会で活躍している「世代」を超えた人たちと共に学ぶ環境を整えていかなければならないでしょう。

また、「分野」の違う人たちとも関わる必要があります。例えば、ホッチキスを作ろうと思えば、機械の仕組みを考えるだけでは済みません。指などの人間の動きや、色合い、材料についても考えます。使いやすさといった心理、売れるのかという経営についても検討するでしょう。このように、多くの分野の人たちと協働しなければ、仕事は成り立たないのです。

さらに、現代はグローバルな時代です。さまざまな国との「文化」の違いを乗り越えることが求められます。相手の国の文化によって、ものづくりの考え方も変わります。その違いを理解して「文化」の壁を超えていかなければ、日本のものづくりは世界で展開できないでしょう。

共創教育のシステム づくりに取り組む

このように「世代」「分野」「文化」を超えて、共に創ることを学ぶ「共創教育」の実現が、本学の今後のビジョンとなります。いろんな世代、いろんな分野、いろんな国の人たちが、本学に学びに来る。オープンでアクティブな「夢考房キャンパス」が生み出されるわけです。

私たちの次のステージは、この共創教育を大学教育の中でどのように展開していくかを考えることです。問題発見から解決にいたる過程・方法をチームで実践しながら学ぶ「プロジェクトデザイン教育」や、



地域の「知の拠点」としての役割を果たしていくため、さらに開かれた大学になっていく必要があると話す大澤学長

シンガポールやインドネシアなどの海外の学生たちと協力して地域の問題に取り組む国際プロジェクト「ラーニングエクスプレス」はそのベースであり、共創教育の実現に向けてシステムづくりに取り組んでいます。

卒業生は“家族” 在学生の憧れに

「世代」という点では、卒業生の協力を期待しています。社会で活躍してきた卒業生には、知恵と経験があります。そこに学生たちの若い発想力が加われば、新たな技術革新が生まれるでしょう。ぜひ卒業生の皆さんには、大学にもう一度戻って学生と一緒に学んでほしいと考えています。

最後に、卒業生の皆さんには、在学生の憧れの存在になってほしいと思っています。私たちは金沢工業大学で学んだ“家族”なのです。皆さんの歩んできた道は大学が歩んできた道であり、歴史そのものなのです。社会で活躍する先輩たちの姿を見れば、後輩たちはさぞ心強いことでしょう。ロールモデルとなるような活躍を卒業生の皆さんには期待しています。

新たなキャンパスライフに胸躍る

金沢工大学園に 1,998 名が入学

学園の平成 28 年度入学式が平成 28 年 4 月 1 日（金沢工大、金沢高専）、2 日（大学院）、3 日（虎ノ門キャンパス）にそれぞれ開かれ、金沢工大 1,652 名、金沢高専 112 名、大学院 193 名、虎ノ門キャンパス 41 名が、新たな学生生活の始まりに胸を躍らせた。

金沢工大入学式では、大澤敏学長が学生に対して文化の異なる人たちとも協働して世界で活躍する人材への成長を期待した上で、「高い志を持って予測困難な時代に果敢に挑戦し、高度専門技術者を目指してほしい」と式辞を述べました。また、新入生を代表して



厳肅な雰囲気の中で行われた金沢高専の入学式

森本悠也さん（電気電子工学科）が宣誓し、今年度の特別奨学生を代表して影山貴生さん（メディア情報学科）に「リーダーシップアワード生証」が授与されました。

金沢高専入学式では、ルイス・パークスデール校長が式辞を述べ、「急激に変化する社会に備えてください」「学生生活を満喫してください」「世界市民になってください」「自分の学習に責任を持ってください」など、5 年間を有意義に過ごすための 6 つのポイントを述べた上で、「大いに学び、大いに笑い、そして友を作り、充実した日々を送ってください」と激励しました。これに応え、新入生を代表して巢立拓也さんが宣誓しました。



金沢工大の入学式で新入生を代表して宣誓した森本さん（中央）

丹野・小谷両名誉教授が 瑞宝中綬章を受章

平成 28 年度春の叙勲

平成 28 年 4 月 29 日に発表された春の叙勲で、金沢工業大学名誉教授の丹野平三郎氏と小谷勇慶雄氏が瑞宝中綬章を受章されました。

丹野氏は、昭和 41 年に金沢工業大学講師に着任され、昭和 46 年に教授に就任されました。ライブラリーセンターの基盤整備、学生の人間形成などに尽力され、「泉屋利吉賞」を受賞されています。研究では、北陸の繊維産業の実態調査と分析を行い、産地体制の特徴を究明したほか、中小企業の組織化や多角的連携について明らかにし、産地診断や助言指導に当たってき

ました。

小谷氏は昭和 41 年に金沢工業大学講師に着任し、昭和 50 年に教授に就任されました。

金沢工業大学の教育基盤の形成に取り組んでこられ、中でも、穴水湾自然学苑での合宿研修プログラムを立案・実践した功績は大きく、「泉屋利吉賞」を受賞されています。研究では、高度



丹野平三郎名誉教授



小谷勇慶雄名誉教授

情報化社会に不可欠な情報ディスプレイの分野において液晶ディスプレイの技術の進化に貢献したほか、超省電力の情報ディスプレイの製品化への道筋をつけました。

PLUS
大学

ものづくりの
環境が充実

夢考房 41 が新築

金沢工業大学のものづくりの拠点「夢考房」の新築工事が平成28年4月下旬から始まっています。新建屋は現在の夢考房 41 横の敷地に建てられ、来年2月28日に完成する予定です。

新夢考房 41 は、地上4階建て、延床面積4994平方メートルとなり、現在の夢考房 26・41 を合わせた面積の約1.7倍の広さです。平成5年に夢考房 26、同



ものづくりの拠点が新たに

10年に夢考房 41 を開設して以来となるハード面の刷新であり、ものづくりの環境がいっそう充実します。

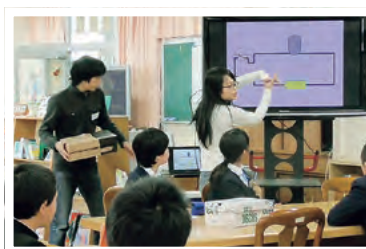
PLUS
高専

英語で
ものづくりを指導

かほく市高松中で出前授業

「上級英語 I (CLE²)」を受講する4年生16名が平成28年1月15日、「英語でモノづくり」をテーマとした出前授業をかほく市立高松中学校で実施しました。同校での出前授業は今回で3度目となります。

①マシュマロタワー②輪ゴムカー③クレーン④プログラミング⑤シークレットボックスの5つのグループに分かれて授業を行いました。学生たちの分かりやすい指導



に中学生は興味津々で、笑顔にあふれた授業となりました。

シークレットボックスの説明を英語で行う学生たち

学園施設 Watch [Part.1] 1号館

建築家・大谷幸夫氏が設計し、昭和44年に完成しました。大谷氏は、国立環境研究所のナノ粒子健康影響実験棟と地球温暖化研究棟(茨城県つくば市)や国立京都国際会館 ANNEX 棟(京都市左京区)などの代表作があります。この1号館

をはじめ、ライブラリーセンターなどの金沢工業大学北校地の建物の設計も担当し、一連の設計で日本建築学会作品賞を受賞しています。

昭和39年から9年間、第三代理事長を務めた益谷秀次氏をたたえて、益谷記念館とも呼ばれています。



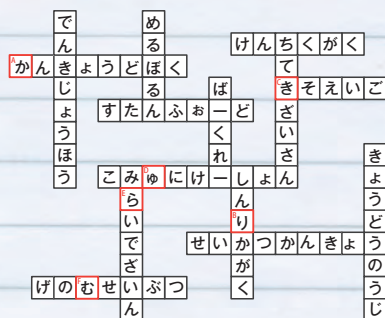
コンクリートの建築作品として当時話題を集めました

こぶし会PRESENTS

クイズの学園

前号の
答え

KIT検定
(中級編)の答え



パズルは下の通りになります。パズル内のA~Fの文字を拾って並べると

A B C D E F
か かり き け ら む と なります。

数学パズルの答え

Q1の答え

自宅からA町までの距離をXkmとすると、初日の行きは $\frac{X}{50}$ 時間、帰りは $\frac{X}{30}$ 時間ですから $\frac{X}{50} + \frac{X}{30} = 4$ となり、 $X = 75$ km となります。別の日は往復150kmを時速40kmで走りますから、 $\frac{150}{40} = 3\frac{3}{4}$ 時間、

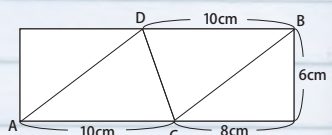
すなわち **3時間45分** です。

Q2の答え

問題ではCDのラインを折り曲げています。このとき、△

ACDが△BCDに重なるので、長方形からこの三角形の面積を引けばよいこととなります。△BCDの面積はひし形(平行四辺形)の面積の半分ですから、

$$6 \times 18 - \frac{10 \times 6}{2} = 78 \text{cm} \text{ となります。}$$



頭の体操!

解けてそう快!

クイズの学園 VOL. 11

ストレスの多い現代社会、
日々の生活に疲れてはいませんか?
そんな方のために、ちょっとした
気分転換ができるクイズを用意しました。
ご家族で楽しんでください。

KIT検定 (中級編)

以下の金沢工業大学に関する記述のうち、まず○の部分をはらがなで埋めてください(○は1文字)。それぞれの単語を表のマス目に残さずに当てはめ、A~Gに入る文字を順に並べてできる言葉を答えてください。

ヒント

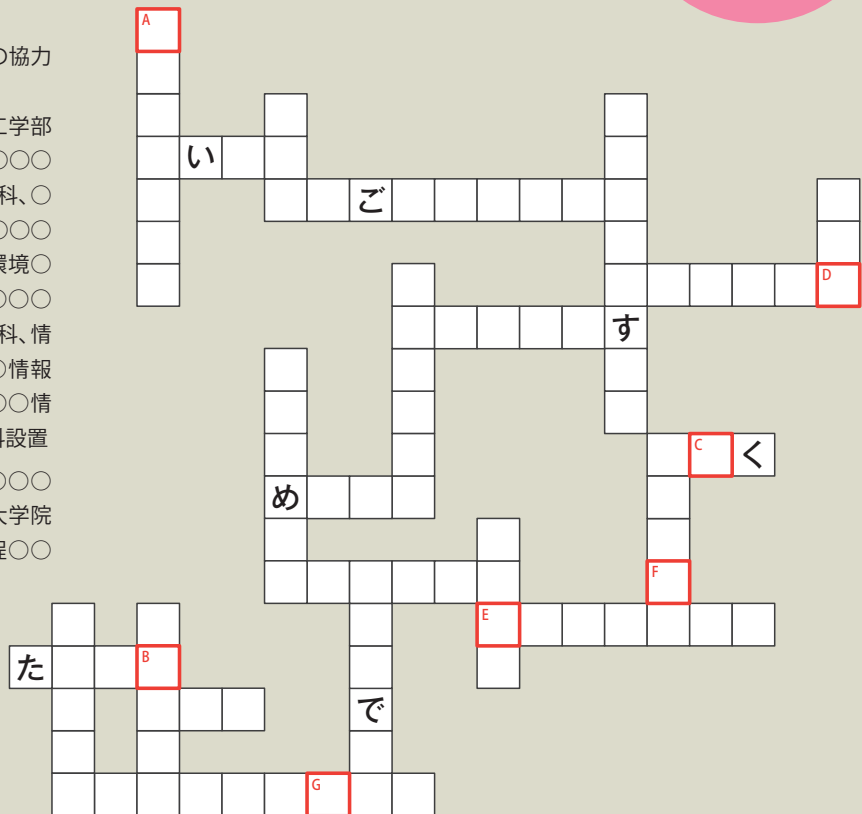
スケルトンと呼ばれるパズルです。タテは上から下に、ヨコは左から右に単語を記入します。また、タテとヨコが重なる部分は同じ文字が入ります。

■ 学園のあゆみ⑦ H16年

H16/2/7 高専、○○○○○○○○○○との協力協定に調印

H16/4/1 大学、○○○○○教育改革、工学部○○○○○○○学科、○○○○○○○○○工学科、○○○○○○○○○工学科、○○○○○○○○○工学科、○○○○○・建築学部○○○化学科、環境○○○科、環境○○○○工学科、○○○○○学科、建築○○○○○○○学科、情報○○○○○○○学部○○○○○情報学科、○○○○○情報学科、○○○○○情報学科、情報○○○○○○○学科設置
大学院工学研究科修士課程○○○○○○○システム専攻設置、大学院○○○○○○○研究科修士課程○○○○○○○心理学専攻設置

H16/5/11 臨床○○○○○○○○開設
○○○○○中央研究院との
学術協力協定に調印



A	B	C	D	E	F	G
---	---	---	---	---	---	---

※学園のあゆみは金沢工業大学のホームページ教育情報の公表内の「沿革」に掲載されています。

応募のきまり

■ 応募方法

同封しているインフォメーションカードにクイズの答えを記入してお送りください。正解者の中から抽選で10名の方に3,000円分の図書カードをお送りします。なお、当選者の発表は賞品の発送を持って代えさせていただきます。

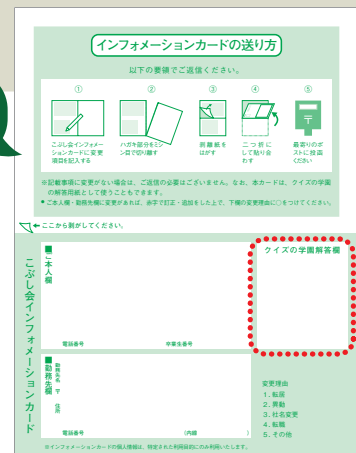
■ 発表

正解は平成28年10月14日(金)にこぶし会ホームページ上で発表します。

■ 締切

平成28年10月3日(月)当日必着

インフォメーションカードの記入例



「会報こぶし」Presents

オリジナル 応募クイズ

豪華商品をGET!!



こぶし祭で皆さんが心待ちにしているのは「お楽しみ抽選会」でしょう。祭りに参加できる会員はもちろん、会場に足を運ばない会員にも豪華賞品が当たるチャンスがあるのが『オリジナル応募クイズ』です。会報こぶしを読んでいる方なら、ハガキにクイズの答えを書き、応募券を貼って送るだけで、賞品が当たるかもしれません! 全国の皆さんからの応募をお待ちしています。

こぶし祭の
10月29日(土)に
抽選します



賞 3つのコースより
お選びください

コードレスで強力!

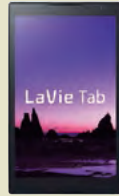
Aコース ハンディークリーナー

コンパクトで持ち運べる

Bコース タブレットパソコン

4K 動画も撮影できる

Cコース ミラーレス一眼カメラ



PM2.5にも対応

加湿空気清浄機



髪がしっかりまとまる

ヘアドライヤー



その他豪華賞品 20点!

※写真はイメージであり、実際の賞品と異なる場合があります。

応募クイズ問題



金沢工業大学第六代学長
に就任したのは
どなたでしょうか?

応募方法

「会報こぶし」の巻末ページに付いている応募券を切り取って郵便ハガキに貼り、クイズの答えと希望のコース、あなたの郵便番号、住所、氏名、電話番号、卒業年、同窓会名(保二会、高専、大学のいずれか)を記入し、下記の宛先までお送りください。正解者の中から厳正な抽選のうえ、当選者を決定いたします。なお、抽選会は、10月29日(土)の第16回こぶし祭で行われ、当選者はこぶし会ホームページで発表します。

【宛先】

〒921-8501
野々市市扇が丘7番1号
金沢工業大学内こぶし会事務局
第16回こぶし祭
「オリジナル応募クイズ」係行

【記入例】

 クイズの答え コース 郵便番号 〒000-0000 住所 ○○○○ 氏名 ○○ ○○ 電話番号 000-000-0000 卒業年 ○○○○ 同窓会名 ○○○○	ハガキ裏面
--	-------

応募券を貼る

【締め切り】

平成28年10月21日(金)
当日消印有効



こぶし祭(高専祭&工大祭共通)チケットを販売

こぶし屋、学生模擬店で使える金券(抽選券付)を1,000円から販売します。
詳しくはこぶし会事務局までお問い合わせください。 TEL:076-294-6375

こぶし祭開催!

今年も祭りの季節がやってきました!

高専祭併催
10/15(土)・16(日)

工大祭併催
10/29(土)・30(日)



毎年恒例となったこぶし会のイベント「こぶし祭」を今年も開催します。日程は10月15日、16日(高専祭併催)と29日、30日(工大祭併催)の4日間です。全国から集まった特産品が並ぶ「こぶし屋」、豪華賞品が目白押しの大抽選会、楽しいイベントを繰り広げるステージ企画など、例年以上に盛りだくさんの内容を用意しています。ぜひ会場にお越しください。



● 皆様のご来場を心からお待ちしています。



こぶし会 会計報告

平成27年度 保二会決算書

■収入の部 H.27/4/1-28/3/31		
大科目	中科目	決算額 (円)
活動費収入	活動費収入	53,864
繰越金	繰越金	0
合 計		53,864

■支出の部		
大科目	中科目	決算額 (円)
経常費	事務局費	43,080
事業費	事業費	10,784
繰越金	繰越金	0
合 計		53,864

平成28年度 保二会予算書

■収入の部 H.28/4/1-29/3/31		
大科目	中科目	予算額 (円)
活動費収入	活動費収入	330,000
繰越金収入	繰越金収入	0
合 計		330,000

■支出の部		
大科目	中科目	予算額 (円)
経常費	事務局費	170,000
事業費	事業費	125,000
予備費	予備費	35,000
合 計		330,000

平成27年度 こぶし会決算書

■収入の部 H.27/4/1-28/3/31		
大科目	中科目	決算額 (円)
会費収入	正会員会費収入	46,260,000
	維持会費収入	3,642,000
寄付金収入	寄付金収入	2,000
基本財産運用収入	基本財産運用収入	27,434,512
雑収入	預金利息収入	3,727
	その他の収入	5,119,510
繰越金収入	繰越金収入	2,485,650
合 計		84,947,399

■支出の部		
大科目	中科目	決算額 (円)
経常費	事務局費	2,174,953
事業費	会報費	18,313,583
	支部費	19,563,678
	企画運営費	7,673,794
同窓会助成費	保二会	53,864
	高専同窓会	455,339
	大学同窓会	3,630,620
学生支援事業費	学生支援事業	195,350
積立基金	積立基金	28,000,000
その他の支出	その他の支出	2,000
繰越金	繰越金	4,884,218
合 計		84,947,399

平成27年度 金沢工業高等専門学校同窓会決算書

■収入の部 H.27/4/1-28/3/31		
大科目	中科目	決算額 (円)
活動費収入	活動費収入	455,339
繰越金収入	繰越金収入	0
合 計		455,339

■支出の部		
大科目	中科目	決算額 (円)
経常費	事務局費	325,089
事業費	事業費	130,250
繰越金	繰越金	0
合 計		455,339

平成28年度 金沢工業高等専門学校同窓会予算書

■収入の部 H.28/4/1-29/3/31		
大科目	中科目	予算額 (円)
活動費収入	活動費収入	680,000
繰越金収入	繰越金収入	0
合 計		680,000

■支出の部		
大科目	中科目	予算額 (円)
経常費	事務局費	335,000
事業費	事業費	320,000
予備費	予備費	25,000
合 計		680,000

平成28年度 こぶし会予算書

■収入の部 H.28/4/1-29/3/31		
大科目	中科目	予算額 (円)
会費収入	正会員会費収入	47,118,750
	維持会費収入	4,047,000
	総会会費収入	750,000
基本財産運用収入	基本財産運用収入	22,010,000
雑収入	預金利息収入	3,000
	その他収入	5,934,500
繰越金収入	繰越金	4,884,218
合 計		84,747,468

■支出の部		
大科目	中科目	予算額 (円)
経常費	事務局費	1,965,000
事業費	会報費	19,375,000
	支部費	20,689,000
	企画運営費	8,293,000
同窓会助成費	総会費	4,666,000
	保二会	330,000
	高専同窓会	680,000
	大学同窓会	3,814,000
積立基金	積立基金	20,000,000
予備費	予備費	4,935,468
合 計		84,747,468

平成27年度 金沢工業大学同窓会決算書

■収入の部 H.27/4/1-28/3/31		
大科目	中科目	決算額 (円)
活動費収入	活動費収入	3,630,620
繰越金収入	繰越金収入	0
合 計		3,630,620

■支出の部		
大科目	中科目	決算額 (円)
経常費	事務局費	405,928
事業費	学科助成費	1,397,529
	在学生助成費	1,827,163
繰越金	繰越金	0
合 計		3,630,620

平成28年度 金沢工業大学同窓会予算書

■収入の部 H.28/4/1-29/3/31		
大科目	中科目	予算額 (円)
活動費収入	活動費収入	3,814,000
繰越金収入	繰越金収入	0
合 計		3,814,000

■支出の部		
大科目	中科目	予算額 (円)
経常費	事務局費	442,000
事業費	学科助成費	1,442,000
	在学生助成費	1,880,000
予備費	予備費	50,000
合 計		3,814,000

新ふるさと自慢

福井県



辛みのある大根がそばの甘みを引き立てます
提供：福井県観光連盟

シンプルだが奥深いそばと 観光の目玉になった恐竜

昭和天皇が 召し上がった

福井県のグルメと言えば、越前おろしそばを思い浮かべる方も多いことでしょう。そばに大根おろしを添えただけのシンプルなお料理ですが、その味わいは奥深く、近年は長寿食として注目を集めています。

全国的に有名になったのは、昭和22年10月に福井で昭和天皇がおろしそばを召し上がり、皇居に戻られてからおろしそばを食された際に「越前のそばは大変おいしかった」と懐かしんだ逸話が日本中に伝わったからだとされています。

越前おろしそばがおいしいのには、2つの理由があります。第一に、北緯36〜38度線の地帯には、味や風味の高いそばが多いと言われている。福井は北緯36度線上であるため品質の高いそばの美が採れます。そして、昔ながらの石臼挽きで製粉されており、そばの風味が損なわれないことが挙げられます。

福井県内でのおろしそばの食べ方はほぼ3通りで、①ダシと大根おろしを別に入れる②ダシに大根おろしを入れる③ダシに大根おろしの汁を入れるです。店ごとに味が異なりますので、食べ歩いてみるのも面白いです。

新種の恐竜も続々

東尋坊、永平寺に次ぐ人気の観光地が、福井県立恐竜博物館です。平成27年度には93万1422名が訪れており、平成26年度の70万8975名を大幅に上回って、過去最高の入館者数を記録しています。



大人から子供まで楽しめる福井県立恐竜博物館
提供：福井県観光連盟

福井県立恐竜博物館は、「恐竜の世界」「地球の科学」「生命の歴史」の3つのゾーンから構成されており、30体以上の恐竜の骨格をはじめ、1000点を超える標本、大型復元ジオラマや映像など大人から子供までが楽しみながら恐竜のことを学べます。

恐竜の化石は、日本国内でも各地で発掘されています。その中でも一番多くの化石を発掘しているのが福井県勝山市です。フクイサウルス、フクイティタン、フクイラプトルなど福井の名前がついた新種の恐竜も発掘されています。JR福井駅の駅前広場には、この3体の恐竜の実物大の復元模型があり、首などがリアルに動きまわります。このように、福井県では「恐竜王国」と銘打って、恐竜を観光の目玉の一つとして積極的にPRしています。



浮田 隆之
(大学・電気・58年)

【福井支部】

- 活動内容…福井支部総会、全国一斉ボウリング大会
- 所属会員…1,973名

和歌山県

日本一の生産量を誇る柿と 美しい星空を眺める天文台

富有柿が始まり

和歌山県は、柿の生産量が約4万7000tで、2位を大きく引き離して日本一の生産量を誇っています。ジャムや干し柿などの加工品、料理レシピの開発も盛んです。

明治時代末期に富有柿が栽培されたのが始まりで、次第に生産量が増え、脱ぎ、昭和50年以降、脱波技術の向上に伴い、や刀根早生などの渋柿の生産が増加し、今では生産量の7割が渋柿であるのが特徴です。

ところで、NHK大河ドラマ「真田丸」が話題となつています。関ヶ原の戦いで西軍が敗れたために、真田昌幸、信繁親子が蟄居を命じられた場所が九度山です。九度山町は肥沃な土地で、昼夜の温度差が大きいことから、糖度、熟度の高い富有柿が採れることで知られており、日本一との声がかかっているほどです。



熟した柿を冷凍庫で凍らせると違った食感に
提供：和歌山県

柿には、ビタミンC、カロテン、タンニンなどの成分が含まれており、美容によいとされています。また、二日酔いを防ぐとも言われています。さまざまな品種がありますが、食べ比べてみてください。

天の川が一面に

和歌山県紀美野町は「星空の町」として知られ、美しい星空を眺めることができます。その拠点である「紀美野町立みさと天文台」は、「星の動物園」とも呼ばれるほど自然環境に恵まれ、月がねは肉眼で天の川が見えます。

みさと天文台は、平成7年に開館した公開天文台です。日本には、口径100mm以上で一般公開されている望遠鏡は12台あり、みさと天文台の口径105cmのカセグレン式反射望遠鏡もその1台です。夜の観望会ではこの大型望遠鏡を予約なしでのごくことができ、日本でも唯一、水素ガスが放つ電波を受信する水素観測用電波望遠鏡を備えています。一般には公開されていません。

大型望遠鏡は「星の塔」に設置されており、プラネタリウム「夢宙空間」や3D「Mikata」といった映像設備もあります。プラネタリウムは実際に撮影された星空やCGも使われ、リアルな宇宙空間が感じられます。3D「Mikata」では最先端の研究成果を反映したCG映像が視聴できます。



満天の星空に抱かれると感動的
提供：紀美野町立みさと天文台



谷垣 和伸
(大学・土木・56年)

【和歌山支部】

- 活動内容…和歌山支部総会、全国一斉ボウリング大会
- 所属会員…400名

<特別会員>

平成27年 4月 島村 昇
(元大学教授)
12月 太田 実
(元大学教授)
平成28年 1月 加久間 勝
(元大学教授)
4月 多田 治夫
(元大学教授)

<正会員>

日熊 誠
(大学・建築・S49)
水野 聡司
(大学・経営・H14)
小牧 次郎
(大学・建築・S50)
笹林 浩市
(大学・電気・S57)
國嶋 司
(大学・建築・S50)
表野 竜也
(大学・メディア情報・H22)
野根 宏敏
(大学・土木・S59)
長谷 州作
(大学・経営・H元)
平成18年 及川 彰記
(大学・機械・S52)
平成21年 出合 浩之
(大学・機械・S62)
平成22年 菅田 政志
(大学・建築・S57)
平成24年 大橋 清一
(大学・経営・S52)
4月 清水 順
(大学・土木・S48)
八重樫 広信
(大学・土木・S52)
平成25年 4月 村石 純一
(大学・建築・S57)
7月 栗林 茂吉
(大学・電気・S54)
9月 松本 久平
(大学・経営・S45)
12月 阿部 浩
(大学院・知能創造・H19)
平成26年 桂 宏恭
(大学・建築・S53)
1月 山本 和夫
(高専・機械・S47)
8月 細川 外喜雄
(大学・経営・S48)
9月 中村 勝利
(保二会・S35)
中川 憲史
(大学・電気・H7)

平成27年

10月 小西 利之
(保二会・S43)
11月 村中 保
(保二会・S48)
伊藤 宏孝
(大学・機械システム・H13)
12月 出水 一成
(大学・電気・S50)
山辺 英一
(大学・機械・S44)
今村 秀治
(高専・電気・H5)
仁木 保誠
(大学・土木・H3)
小川 太久夫
(大学・電気・S55)
2月 山田 信久
(保二会・S33)
3月 横井 博仁
(大学・土木・S52)
小谷 律
(大学・情報・S53)
4月 中 昭治
(保二会・S39)
新保 清治
(大学・機械・S45)
伊藤 成昭
(大学・経営・H3)
太田 浩史
(大学・機械・S62)
6月 金谷 勉
(大学・機械システム・H16)
7月 中 真治
(大学・経営・S55)
北島 章
(高専・機械・S46)
岡田 欣也
(大学・心理情報・H22)
9月 村本 一郎
(保二会・S38)
松林 達夫
(保二会・S41)
荻山 仁志
(大学・経営・S46)
北垣 隆三
(大学・土木・S46)
中村 憲雄
(大学・建築・S50)
片岡 利之
(大学・土木・S49)
野村 平
(保二会・S37)
森 健吉
(保二会・S41)
10月 銭谷 英人
(大学・経営・S61)

庄司 義市
(大学・建築・S49)
池田 文夫
(専攻科・機械・S54)
山出 亮一
(大学・電気・S45)
11月 下山 美香
(大学・機械・H16)
倉田 大嗣
(大学・ロボティクス・H24)
林 勇二
(大学・土木・H5)
福田 豊
(保二会・S35)
竹中 崇
(大学・土木・H元)
上垣内 郁夫
(大学・建築・S51)
本 彰
(大学・情報・S50)
12月 笠間 正男
(保二会・S36)
黒川 吉祐
(大学・建築・S51)
辻岡 昌利
(大学・土木・S58)
三津守 康二
(大学・機械・S55)
長岡 恭一
(大学・建築・S52)
平成28年 1月 長井 祥路
(大学・電子・S54)

高木 満
(大学・土木・S58)
仙木 淳
(大学・ロボティクス・H20)
大石 純三
(大学・土木・S51)
山田 征八郎
(保二会・S37)
寺西 外志和
(保二会・S35)
稲村 隆
(保二会・S45)
2月 大音 健次
(大学・電気・S44)
3月 山田 貴之
(大学・機械・H5)
土合 弘彦
(大学・情報・S53)
田形 俊哉
(大学・建築・S57)
4月 井原 敏夫
(保二会・S36)
西川 昌樹
(高専・電気・S49)
浅田 暁
(保二会・S36)
中 幸一
(大学・土木・S50)
5月 立田 博
(保二会・S40)
泉 晋郎
(大学・建築・S54)

小林 伸明

金沢工業大学教授 逝去



小林伸明教授は平成28年2月1日、病気のため逝去されました。67歳。小林教授は防衛学校機械工学科を卒業後、陸上自衛隊に入隊。昭和61年に本学の助教に就任され、昭和63年には教授に就任されました。機械システム工学科主任などを経て、平成20年にはFMT研究所所長も兼務されました。豪快でありながら繊細な気配りをされる教育熱心な先生の人柄は多くの学生、教職員に慕われていました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

渡辺 弥壽夫

金沢工業大学教授 逝去



渡辺弥壽夫教授は平成28年5月16日、病気のため逝去されました。61歳。渡辺教授は金沢大学工学部電子工学科を卒業、東京工業大学大学院理工学研究科博士課程を修了後、昭和57年に本学講師に就任され、平成3年には教授に就任されました。コンピュータ科学、画像情報工学、バイオ情報科学を専門とし、テニスやギターなど多彩な趣味をお持ちで、明朗快活な人柄は学生に人気がありました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

◆ 会報委員会では、昨年から会報誌のリニューアルに向けた会議を開いてきました。どのような内容を掲載すれば、会員の皆さんに読んでいただける誌面になるのか。委員一人一人が真剣に考え、侃々諤々の議論が交わされました。そうして完成した今号はいかがでしたでしょうか。表紙などを一新し、見やすい誌面を心掛けています。これからも、こぶし会や学園の情報を分かりやすくお伝えしていきますので、ぜひご期待ください。

／記 Y.T

INFORMATION 『会報こぶし』へ皆さまの声を

会員同士はもちろん、皆さんと学園をつなぐ唯一の情報誌である『会報こぶし』では、会員の皆さまからのご意見、ご感想、ご要望をお待ちしております。

■ 送り先

Eメール (kobushi@kanazawa-it.ac.jp) もしくは同封のインフォメーションカードをご利用ください。※個人情報に関する内容については掲載できませんのでご了承ください。

平成28年

11月12日

PM7:00 に同時スタート!



全国一斉

ボウリング大会

家族と一緒に
楽しめる!



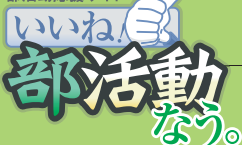
家族と一緒に楽しめるイベントとして定着したボウリング大会。親・子・孫の三世代で参加するご家族の方が年々増えており、こぶし会員の家族間の絆を深める機会となっています。毎年参加されている方も、今年が初めてという方も、ご参加をお待ちしております。各支部での開催会場などの詳細につきましては、後日、こぶし会ホームページでお知らせいたします。



- 参加資格 こぶし会会員およびそのご家族
 - 参加費 2,000円 (ご家族1,000円)
 - 会場 こぶし会ホームページをご覧ください。(10月中旬以降に掲載予定)
- <http://www.kobushi.jp>



部活動応援サイト



在学生の部活動を 応援してみませんか?

こぶし会では、在学生の部活動の情報を得たり、卒業生と在学生在が交流したりする場を提供するホームページ「いいね! 部活動なう。」を開設しています。ホームページでは、金沢工業大学と金沢工業高等専門学校の体育系40団体と文化系18団体の活動を紹介しています。公式フェ

イスブックを通じて双方向のコミュニケーションを取ることも可能で、在校生の部活動を卒業生がさまざまな面から応援できるサイトです。

● 金沢工科大学 部活動応援サイト

いいね! 部活動なう。



こぶし会を日本一の同窓会組織に! 同窓会維持会費納入のご案内

こぶし会では、平成7年度より「同窓会維持会費」制度を導入し、**満40歳以上の会員に年額1,000円を納入していただいております。**69,262人の会員と各支部への活動支援、年2回の『会報こぶし』の発行など、同窓会活動の発展を図るために、ご理解とご協力をお願いします。対象となっている未納入の方には、払込取扱票を同封します。

■会費の払込方法 郵便払込(3年分一括払い3,000円)
お近くの郵便局から同封の払込取扱票を利用して払い込んでください。訂正等ございましたらインフォメーションカードにご記入のうえご返送ください。

対象者

- 保二会全会員
- 高専同窓会(平成29年3月末日で40歳以上の会員)
- 大学同窓会(平成29年3月末日で40歳以上の会員)

*会費の納入は80歳までとさせていただきます。
*平成25年度に3年分の同窓会維持会費の払い込みをされた方は、平成28年3月に期限が切れております。払込取扱票を同封させていただいた方はその該当者となりますので、払い込みくださいますようお願いいたします。

『会報こぶし』は、懐かしい学園の香りをあなたにお届けできる唯一の情報誌です。

こぶし会事務局

【金沢工業大学内】〒921-8501 石川県野々市市扇が丘7番1号
TEL.076-294-6375(直) FAX.076-294-0886
Eメール.kobushi@kanazawa-it.ac.jp URL.http://www.kobushi.jp



QRコードでホームページをチェック!

第16回こぶし会
「お楽しみ抽選会」
応募券